

分野	上下水道	施策	上水道		
分野計画名称	上下水道ビジョン（水道編）			行政経営戦略 参照ページ	P57
施策の展開（大項目）	1 安全な水道の供給				
KPI （指標）	水質検査項目の水質基準適合達成率				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	維持	100%	100%	100%	100%
中項目	1 水質管理体制の強化			分野計画参照ページ	P60
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察		
水質管理事業 水道施設課	・水質検査項目の水質基準適合達成率は100%を維持した。 ・ガスクロマトグラフ等の水質分析機器の定期点検を実施した。 ・安全計画に基づき、水道水の安全性をより確実なものとするため、水安全会議を4回開催した。		・水質分析機器の精度を維持するため、定期点検を実施する必要がある。 ・緊急対応などの事象が発生した際には、対応記録を残し、振り返り検証を行う必要がある。 ・常時水質を監視している水質モニターの点検を確実に実施する。		
給配水管維持管理事業 水道施設課	・ホームページに受水槽の適正管理に関する啓発ページを掲載している。 - 令和6年度は受水槽管理について問い合わせが0件(前年度比±0件)であった。		・受水槽の管理不備が原因となる問い合わせは0件であり、適正に管理されていると考えられる。 ・継続的にホームページで啓発に努め、受水槽が設置された建物管理者には適正な管理を行うよう働きかけを行う。		

分野	上下水道	施策	上水道	
分野計画名称	上下水道ビジョン（水道編）		行政経営戦略 参照ページ	P57

施策の展開（大項目）	2 水道水の安定供給					
KPI （指標）	配水池の耐震化率					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 （令和7年度）
	増加	54.5%	65.9%	77.3%	77.3%	77.3%
KPI （指標）	基幹管路の耐震適合率					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 （令和7年度）
	増加	31.2%	35.8%	36.7%	37.4%	41.5%

中項目	1 複数水源による水道水の供給		分野計画参照ページ	P62
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
太中浄水場管理運営事業 水道施設課	・複数水源維持のため取水ポンプの整備を行い、揚水能力の低下を抑えた。		・井戸の揚水能力が低下している状況の中で、複数水源を持続的に確保するため、適切な井戸の運用を検討する必要がある。	
配水管整備事業 水道施設課	・配水区域のブロック化を進めるにあたり、脆弱な部分について対応するために、管網解析機能を有するマッピングシステムの導入業務委託を実施した。		・新マッピングシステム及び管網解析システムの導入により、配水区域の中・小ブロック化後の水運用の再確認を行う必要がある。	

中項目	2 危機管理体制の強化		分野計画参照ページ	P63
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
給配水管維持管理事業 水道施設課	・応急給水塔の組立訓練、給水車による給水訓練を10回実施した。		・今後も継続して給水活動訓練を部内で行い迅速な対応が出来る体制を維持していく。 ・太中浄水場運転監視業務の委託業者との訓練も継続して実施し職員と連携を図る。	

太中浄水場管理運営事業 水道施設課	・太中浄水場や各送水所の自家用発電機の稼働後に、発電機や燃料の確認を行った。	・太中浄水場と千里丘送水所の非常用発電機は、長時間の停電に対応できない状況であることから適切な燃料管理が必要である。
防災対策事業 経営企画課	・有事における対応の迅速化や在庫管理の正確性の向上を目的に、組立式給水タンク等の資機材の点検及び防災倉庫内の整理整頓を実施した。 ・災害用備蓄水を新たに250箱(6000本)購入した。 ・非常用飲料水袋の棚卸を実施、使用期限を踏まえ更新計画を策定した。 ・日本水道協会大阪府支部主催の情報伝達訓練、応急給水訓練に参加した。 ・上下水道事業に係る危機事象全てに対応できるよう、上下水道部に設置した検討会議及び作業部会での議論を重ね、水道事業危機管理計画及び危機事象対応マニュアルを再編し、新たに上下水道事業危機管理計画を定めた。	・組立式給水タンク、災害用備蓄水、非常用飲料水袋等の資機材について、目標数を確保できている。訓練等を通じた資機材の点検を継続的に行うとともに使用期限のある資機材については、計画的に入れ替えを行う。 ・引き続き災害を想定した各種訓練を実施するとともに、日本水道協会等が主催する広域的な防災訓練へ積極的に参加する。 ・検討会議及び作業部会での議論を継続し、各危機事象における具体的な対応マニュアルを整備する。

中項目	3 耐震化の推進		分野計画参照ページ	P65
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
配水管整備事業 水道施設課	・新在家地内で99mの基幹管路の耐震化を行った。	・鳥飼送水所と中央送水所を結ぶ基幹管路の更新は計画的に進めており、今後も継続的に進める必要がある。 ・更新予定箇所では、府道部分への埋設は地下埋設物が輻湊しており埋設位置と水運用に対して検討を行う必要がある。		

中項目	4 水道施設の更新		分野計画参照ページ	P66
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
施設改修事業 水道施設課	・太中浄水場配水ポンプ盤更新工事を着工した。	・老朽化した設備の更新を行うことにより、設備の信頼性を向上させ、安定した水道供給を目指す。		
配水管整備事業 水道施設課	・鶴野や鳥飼上地域などで2,649mの管路を耐震管に更新した。 ・老朽度の著しい箇所や重要度を勘案して令和7年度の施工場所を検討し正雀、別府等に決定した。	・老朽管の更新箇所については、重要度に加え、漏水履歴の分析、埋設年度等から更新場所を検証し、決定する必要がある。		

分野	上下水道	施策	上水道	
分野計画名称	上下水道ビジョン（水道編）		行政経営戦略 参照ページ	P57

施策の展開（大項目）	3 サービスの維持・向上					
KPI （指標）	経常収支比率（公営企業会計）（上水道）					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 （令和7年度）
	減少抑制	112.9%	103.5%	105.9%	106.1%	100%以上

中項目	1 適切な維持管理		分野計画参照ページ	P69
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
太中浄水場管理運営事業 給配水管維持管理事業 水道施設課	・浄水場および送水所の施設点検を実施した。 ・管路施設については、修繕記録から破損した管路の埋設年度や修理箇所を市内地図に記録した。 ・一津屋、別府、東別府、鶴野等で約32kmの漏水調査を実施した結果、8件の漏水が発見され、速やかに修繕を行った。 ・市内全域で、人工衛星画像のAI解析による漏水調査を実施した。 ・漏水調査機器を使用し、鳥飼地域の調査を行った。		・今後も計画的に効率的に施設の点検を実施し、早期に不具合を発見し修繕する必要がある。 ・管路施設については、修繕記録の可視化により地域別の老朽度合が把握できたことに加えて、人工衛星画像のAI解析により漏水発生の恐れのある箇所が把握できたことから、管路整備の優先順位の判断資料として利用する。	

中項目	2 水道事業の健全な経営		分野計画参照ページ	P70
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
一般事務事業 経営企画課	・上下水道部内で作業部会を設置、令和5年度決算における経営状況の分析、ビジョン及び経営戦略に定める事業の進捗や経営指標の推移についての評価を行うとともに、それらの結果を踏まえた将来見通しや課題の整理を行い、上下水道ビジョン及び経営戦略（改定版）を策定した。		・経常収支比率は前年度と比べ0.2ポイント改善したが、収益の根幹である給水収益は減収傾向にあり、供給単価改善、給水原価抑制に向けた方策を検討する必要がある。 ・経営戦略（改定版）において、水道料金を平均改定率26%で改定するシミュレーションを採用したことを踏まえ、上下水道部経営審議会を開催し、水道料金の水準や持続可能な水道事業の経営について、議論検討を進める。 ・引き続き大阪府、大阪広域水道企業団及び北大阪上水道協議会にて開催される各会議や部会を通じて、情報交換、他市動向の把握に努める。	

中項目	3 人材育成等の推進	分野計画参照ページ	P72
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
一般事務事業 経営企画課	・上下水道部への異動職員を対象に部内研修を開催した。 ・業務別に必要となる資格・研修を整理し、計画的に研修機会を確保した。 ・大阪市主催の水道事業体研修へ職員を派遣するとともに、派遣職員による研修報告会を開催、研修内容を部内で共有した。 ・安全運転管理者、衛生管理者等、事業において必要な法定資格研修に職員を派遣した。	・若手職員を中心に参加可能な外部研修には積極的に参加するとともに、研修報告会を通じて部内で共有を図る。 ・今後も特殊な施工方法、技術を用いる工事を行う際は、研修会や見学会を開催することで、情報共有を行う。 ・事業運営に必要な法定資格を保有する職員を把握、取得支援を行うことで、人事異動等により資格保有者が不足することのない体制を構築する。	

中項目	4 お客さまサービスの向上	分野計画参照ページ	P73
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
一般事務事業 経営企画課	・環境フェスティバルに上下水道部ブースを出展し、水道なんでも相談会を開催した。またブースへの来場者へアンケート調査を実施し、ニーズ把握を行った。 ・市ホームページ上に各年度の事業年報及び決算書を掲載した。 ・広報紙に上下水道事業の特集記事を複数回掲載し、情報提供を行った。	・各年度の決算書、事業年報及び経営比較分析表の公表により経営状況については公表できているものの、市民にとってより分かりやすく伝える手法を検討する必要がある。 ・ブースを出展するイベントが例年固定化されていることが課題となっており、従来の手法に加えて新たな手法による事業のPRや各種啓発を検討する必要がある。	
水道料金等収納事業 料金課	・令和6年4月から上下水道マイポータルのアプリ版を導入した。 ・令和6年4月からマイポータル経由でのクレジット継続払いの申込みを開始し、1,291件の登録があった。 ・令和6年度のポータルサイト経由での開閉栓の申請件数は1,186件(前年度比-29件)であり、申請受付件数全体の23.9%(前年度比+0.8%)となった。	・ポータルサイトを利用したオンライン化による手続きが定着してきている。 ・今後、口座振替、自主納付(納付書払い、コンビニ決済、キャッシュレス決済)、クレジット決済等の市民の納付方法の選択・動向を注視していく。	

中項目	5 環境への配慮	分野計画参照ページ	P74
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
施設改修事業 水道施設課	・更新や整備に合わせて省エネルギー設備を導入に向け情報収集を行ったが、採算性や設置条件を考慮すると本市の規模で導入可能な設備はなかった。	・今後も設備の更新の際には、省エネ機器の導入を進めていく。	

分野	上下水道	施策	下水道	
分野計画名称	上下水道ビジョン（下水道編）		行政経営戦略 参照ページ	P59

施策の展開（大項目）	1 快適な生活環境の創出					
KPI （指標）	下水道人口普及率					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 （令和7年度）
	増加	99.1%	99.3%	99.3%	99.4%	99.3%
KPI （指標）	水洗化率					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 （令和7年度）
	増加	95.9%	96.3%	96.4%	96.4%	96.2%

中項目	1 健全な水環境の創造		分野計画参照ページ	P54
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
公共下水道管理事業 下水道事業課	・公共下水道の汚水水質検査を22地点で年4回実施、特定事業場等から流入の汚水水質検査を18地点で年2回実施したが、一部の公共下水道採水点及び事業所では排水基準値を上回っていた。 ・事業者へ排水設備の清掃について改善指導を行った。		・水質改善に向けて、公共下水道については原因特定の追跡調査を行い、事業者に対しては引き続き改善指導を行う。 ・公共用水域の水質保全及び下水道施設の機能保全を目的に、継続して水質検査を行う必要がある。	

中項目	2 下水道人口普及率・水洗化率の向上		分野計画参照ページ	P55
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
公共下水道整備事業 下水道事業課	・市街化調整区域の鳥飼八町地区において、汚水管161mを整備した。 ・公共下水道未普及路線の鳥飼中、東別府地内において、汚水管104mを整備した。		・鳥飼八町地区の早期の普及のために汚水整備を進める。 ・鳥飼八町地区を除く未整備区域についても、費用対効果等の検証を行い、優先順位を付けて汚水整備を進める。	
水洗化促進事業 下水道事業課	・北別府町、浜町、別府、東別府、一津屋及び東一津屋地区の下水道未接続世帯等148件に対して、戸別訪問による啓発活動を実施した。 ・啓発後に水洗化した世帯及び事業所が21件あった。		・啓発活動の効果が発現しており、引き続き環境政策課と連携し、啓発活動に取り組む必要がある。	

分野	上下水道	施策	下水道	
分野計画名称	上下水道ビジョン（下水道編）		行政経営戦略 参照ページ	P59

施策の展開（大項目）	2 危機に強い下水道の実現					
KPI （指標）	雨水面積整備率					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 （令和7年度）
	増加	55.3%	55.3%	55.5%	55.5%	55.6%

中項目	1 老朽化対策の推進		分野計画参照ページ	P56
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
公共下水道整備事業 下水道事業課	- 令和2年度に策定したストックマネジメント計画に基づく下水道施設の点検、調査及びマンホール蓋、ポンプ場設備の改築工事を実施した。 - ストックマネジメント計画の中間見直し業務委託を実施した。		- ストックマネジメント計画の中間見直し業務委託の結果、本市の管渠劣化状況は国の劣化予測を大きく下回る結果となり、適切な維持管理が実施できていると考える。 - 下水道施設の点検、調査及び管渠補修、浚渫等の維持管理情報の集積、分析を行い、その結果を令和11年度に行うストックマネジメント計画見直しに活用していく。	
公共下水道改築更新事業 下水道事業課	- マンホール目視調査576箇所、下水道管渠内テレビカメラ調査約15.5kmを実施した。 - 下水道施設の点検調査結果データを下水道台帳システムに蓄積した。		- 下水道管渠内の異状等により、点検調査作業が滞る場合があるので、事態を想定した調査手順で対応していく必要がある。 - 点検調査結果データは修繕改築計画の基礎資料となるため、引き続き下水道台帳システムに蓄積していく。	

中項目	2 浸水対策の推進		分野計画参照ページ	P58
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
公共下水道整備事業 下水道事業課	東別府雨水幹線周辺において、雨水管257mを整備した。		東別府地区の浸水対策の根幹となる東別府雨水幹線建設工事が完成したことから、引き続き、雨水幹線周辺の雨水整備を進める。	
公共下水道管理事業 下水道事業課	- 開発面積が5,000㎡以上となる大規模開発に対して、雨水の流出抑制を指導した。 - 水防法の改正に伴い内水浸水想定区域図を更新の上、防災ブックに記載し、各戸配布を実施した。		- 引き続き、大規模開発を行う事業所に対して、雨水流出抑制の指導を行っている。 - 近年の集中豪雨に対する水防法の改正に伴う内水浸水想定区域図の更新を行い、各戸配布することで、下水道の能力を超える降雨時の浸水予測をより多くの市民に広報し、災害への備えや対策の検討をいただき市民の安全確保に繋げる。	

中項目	3 地震対策の推進		分野計画参照ページ	P59
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
公共下水道整備事業 下水道事業課	・雨水及び汚水の公共下水道管の新設に伴い、管渠522mを耐震化した。 ・千里丘・味生小学校、第二中学校にマンホールトイレを30基設置した。また、鳥飼・鳥飼北小学校、第五中学校におけるマンホールトイレ設置工事を発注した。 ・下水道BCPにおいて、人事異動等による組織体制の変更に伴い、災害時における職員の参集可能人員と配置について、時点修正した。	・下水道施設の耐震化を図るため、新しい材料や工法等の情報収集を進める。下水道総合地震対策計画に基づき避難所である小中学校にマンホールトイレの設置(各10基)を進める。 ・下水道BCPに対する職員の理解を深めていくとともに、実用性を重視した見直しを進める必要がある。		

分野	上下水道	施策	下水道	
分野計画名称	上下水道ビジョン（下水道編）		行政経営戦略 参照ページ	P59

施策の展開（大項目）	3 下水道サービスの維持・向上					
KPI (指標)	経常収支比率(公営企業会計)（下水道）					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	減少抑制	103.9%	108.3%	104.1%	105.8%	100%以上
KPI (指標)	経費回収率【★】					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	94.6%	104.5%	96.8%	96.7%	100%

中項目	1 下水道事業の健全な経営		分野計画参照ページ	P60
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
一般事務事業 経営企画課	・上下水道部内で作業部会を設置、令和5年度決算における経営状況の分析、ビジョン及び経営戦略に定める事業の進捗や経営指標の推移についての評価を行うとともに、それらの結果を踏まえた将来見通しや課題の整理を行い、上下水道ビジョン及び経営戦略(改定版)を策定した。 ・資本費平準化債を活用し、基準外繰入金を解消した。		・令和5年度決算を踏まえた収支見通しでは、計画期間において黒字を確保できる結果となった。 ・経営戦略(改定版)において、ストックマネジメント計画に基づく点検・調査費用及び修繕費用を反映した。計画期間中の利益水準を注視しながら、計画的な点検・調査を進める。 ・埼玉県八潮市における事故を受け、国からの要請・施策が流動的であるため、その動向に注視する必要がある。 ・使用料収入を一部の大口需要家に依存する傾向は変わらず、需要水準の動向を注視していく必要がある。 ・資本費平準化債について将来の元利償還負担を抑制しつつ、引き続き足元の基準外繰入金を削減できるよう適切な水準での発行を検討する。	
公共下水道管理事業 下水道事業課	・大阪府が主催する流域下水道不明水対策協議会に参加し、大阪府からの情報や関連市町の取組事例について情報共有した。 ・排水設備工事完了検査を276件実施した。 ・検査受付及び完了検査について、水道施設課給水装置係と連携して実施した。		・不明水侵入箇所の特定には複数年必要なため、引き続き協議会への参加を通じて情報収集を行い、不明水箇所の絞り込みに効率的且つ効果的な調査方法を研究していく必要がある。 ・排水設備工事完了検査において、下水の誤接続はなかった。水道施設課給水装置係との連携によって、効率的な検査体制を構築できている。	

中項目	2 人材育成などの推進		分野計画参照ページ	P62
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
一般事務事業 経営企画課	・上下水道部への異動職員を対象とした部内研修会を開催した。 ・業務別に必要となる資格・研修を整理し、計画的に研修機会を確保した。 ・酸素欠乏硫化水素危険作業主任者研修等に職員を派遣、業務に必要となる資格取得を推進した。	・若手職員を中心に参加可能な外部研修には積極的に参加するとともに、研修報告会を通じて部内で共有を図る。 ・水道料金徴収等の包括的業務委託の委託範囲拡大を検討し、委託業者の指定手続き及び一般行政部局との調整を進める。		

中項目	3 広報活動の充実		分野計画参照ページ	P63
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
一般事務事業 公共下水道整備事業 経営企画課 下水道事業課	・環境フェスティバルに上下水道部ブースを出展し、微生物見学会の開催、マンホールカード及び缶バッジの配布を行った。また、来場者にアンケート調査を実施した。 ・合格祈願御守仕様のマンホールカードを制作、配布時に下水道事業の啓発を合わせて実施した。	・引き続き、環境フェスティバル等のイベントへのブース出展や出前講座等を通じて、市民へ情報発信を行っていく。 ・デザインマンホール、マンホールカード、マンホールトイレ等を絡めた新たな広報施策を展開する。 ・各年度の決算書や事業年報、経営比較分析表の公表により経営状況については公表できているものの、市民にとってより分かりやすく伝える手法を検討する必要がある。		